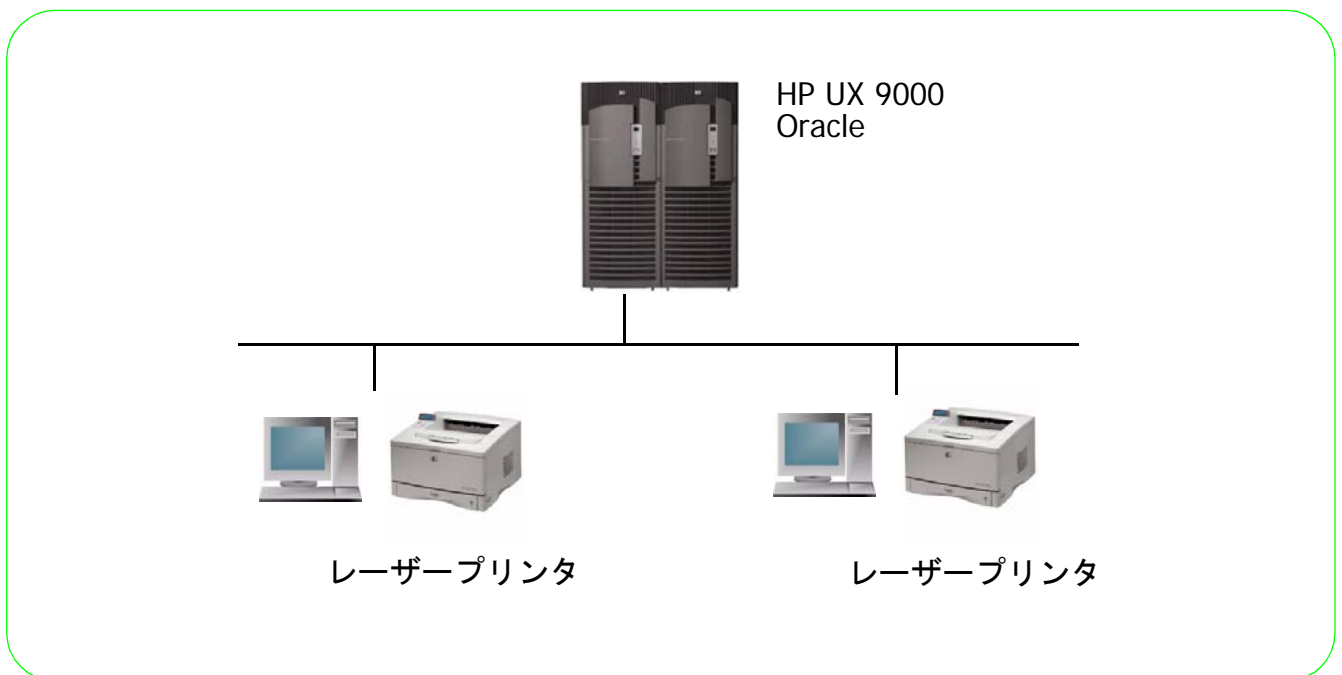


フォンテラジャパン様の場合

フォンテラジャパン株式会社様はフォンテラコーポレーション（前身はニュージーランド酪農公社）の日本法人であり、乳製品及び食料品の輸入販売を主な業務としています。2002 年度に、それまで帳票のプリントで使用していたドットプリンタをレーザープリンタに入れ替えましたが、用紙の方はカット紙にプレ印刷したフォームを使用していた関係で、帳票ごとにプレ印刷した用紙を交換してプリンタにセットしなければならない煩雑さがありました。またプレ印刷している帳票フォームは 1 年に 1 度ぐらいの頻度で項目の変更などがあり、原版を再作成する費用が発生しておりました。

これらの問題を解決でき、なおかつカラーに対応できるソリューションを探していました。多くのソリューションがプリンタと HP-UX 9000 との間にプリントサーバーを必要とするタイプのもので価格も数百万円となり決めあぐねていました。ある販売店よりプリントサーバーを必要としない PlanetPress による帳票ソリューションを紹介され、コスト面でもプリントサーバータイプのものに比べて半分以下であったので導入することにいたしました。

従来のシステム構成



OBJECTIF LUNE

3

帳票フォームは請求書、納品書と荷渡指示書の 3 種類で、最初は販売店に依頼して作成してもらいましたが、今後の変更などは自社で行う必要上 PlanetPress の講習を受けました。PlanetPress で作成したフォームは PostScript プリンタのハードディスクにダウンロードされ、プリントジョブごとにフォームをハードディスクから呼び出して使用するため帳票用紙の差し替えがなくなり、フォームの修正が自社でできるようになりましたので修正にともなう費用の発生もなくなります。フォームにはプリント枚数をカウントするマクロを記述しましたので累計プリント枚数も把握できるようになりました。プリントした用紙は事務所への発送や在庫点検も不要になりました。また帳票フォームのプリントのバックアップ用にコピー/ファックスとしても使用できるカラーの複合機を 1 台新規に導入したことと、PlanetPress 用に導入した 2 台のカラープリンタは Windows のプリントにも使用しておりますので、従来に比べプリンタの利用範囲が広がりました。

導入後のシステム構成

